

記者ノート

豊かさを支えたい

「すきなもののbingo」は、4人で16のマスを埋める。1人四つずつ好きなものを言い合う。アニメーション21のプログラムが、まるような気持ちになつた。やゲーム、アイドルが並んだらおしまいかと思ったら、そうではない。それを支えたいと思つた。

- キーパーソン21の歩み**
- 1998年 朝山、長男の学校崩壊に直面
 - 2000年 「キーパーソン21」設立
 - 01年 学校での「おもしろい仕事人がやってくる」講演とワークショップ開始
 - 02年 NPO法人化
 - 03年 「夢!自分!発見プログラム」開発スタート
 - 07年 企業やNPO団体との連携スタート
 - 12年 東日本大震災被災地の高校生対象にキャリア教育プログラム
 - 13年 児童養護施設へのキャリア教育支援
 - 14年 東京の小学校1校で教員全員を対象にキャリア教育研修
 - 15年 生活保護世帯の中学生の学習支援始める



コミュニケーションゲーム
6月25日火曜日
「すきなもののbingo」をする小学生たち

コミュニケーションの始まり。紙に二ヶ
ネームを書いて自己紹介する(キーパー
ソン21提供)

わくわくエンジン

朝山さんは男の子3人の

受けた子は3万5千人を超えた。
いずれかのプログラムを受けた後、急に登校し始めた。朝山さんは男の子3人の

生きる原動力 発掘

は作戦立てること、B君はチームに自分が役立っていること、C君は素振りや筋トレで日々、成長を感じること答えた。わくわくエンジンは三者三様だった。

キーパーソン21のプログラムを一緒に受けた中学生の中で、3人が野球に打ち込んでいたケースがあった。なぜ野球が好きなのか。突っ込んで聞くと、A君は

は無理だと気付き、挫折したような気持ちになる。野球になれば、大人はつい「野球選手になれ」と言う。しか

れば、大人はつい「野球選手になれ」と言つた。なぜ野球が好きなのか。突っ込んで聞くと、A君は作戦立てること、B君はチームに自分が役立っていること、C君は素振りや筋トレで日々、成長を感じること答えた。わくわくエンジンは三者三様だつた。

むのようないいけど、お兄ちゃんたちには必要なんだから認めてほしい」。この女子生徒に最高点が付いた。

子どもの
いま 未来
2016

⑧

社会を意識 主体性育む

わくわくエンジンを見つけた子は劇的に変わると朝山さんは言う。最近も小6から不登校だった男子高校生が、個別プログラムを受けた後、急に登校し始めた。

いざれかのプログラムを受けた子は3万5千人を超えた。朝山さんは男の子3人の受けた子は3万5千人を超えた。

NPOの活動と自らの子育て経験から、課題とその解決の道筋をつかみ「一人一人が輝く」という理想の実現に向けて走っている。

「バーソン21を創設する。NPOの活動と自らの子育て経験から、課題とその解決の道筋をつかみ「一人一人が輝く」という理想の実現に向けて走っている。

最高点は思いやり

東京都内の中学校で7月、キーパーソン21の「コミュニケーションゲーム」の実践を見た。第3関門のテーマは「親に携帯電話を持たせてほしいとお願いする」。生徒は4人一組できょうだいになり、父親・母親役の大人に理由を説明する。「アルバイトのために必要だ」「家族の連絡のために欲しい」。父親に断られ、末っ子役の女子生徒がこう説得した。「私は小学生だから、なくてもいいけど、お兄ちゃんたちには必要なんだから認めてほしい」。この女子生徒に最高点が付いた。